

「信州の木」木質構造建築工事 特記仕様書

「信州の木」木質構造建築工事 特記仕様書

1. 一般事項 ※■印の付いた項目を適用する。
- 1.1 適用範囲 ■本特記仕様書は、長野県における公共建物の構造材あるいは造作材に県産材「信州の木」他の木材を用いる工事に適用する。
- 1.2 目的 ■県産材「信州の木」が多く活用され、所定の品質が確保されることを目的とする。
- 1.3 設計図書 ■本特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書と質疑応答を含む）を設計図書という。
- 1.4 適用基準 住宅金融支援機構監修 木造住宅工事仕様書
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成 年度版 木造建築工事標準仕様書
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成 年版 公共建築工事標準仕様書
建築工事標準仕様書・同解説 J A S S 11 木工事
- 1.5 施工図 接合部等のモックアップを作成する。
プレカットを行う場合は、プレカット図を施工図に替えることができる。
- 1.6 製作工場及び木工事を請う業者の選定
 設計図書に基づき規模、加工内容に応じた施工実績のある製作工場及び木工技能者を選定し、監督職員の承諾を受ける。
- 1.7 各種試験及び試験成績表の提出
 各工程で監督職員の指示する試験及び試験結果ならびに施工記録等を監督職員に提出する。

2. 部位別の材料仕様

2.1 構造材（軸組材）

部位	寸法			材料の種類	樹種	強度等級 (機械等級は目視等級の乙3級が前提)		化粧等級	含水率	仕上	防腐・防蟻処理	その他特記事項 (背割り等)
	巾 (mm)	成 (mm)	長さ (m)			目視	機械					
土台												
大壁の柱												
真壁の柱												
大スパン部の柱												

スパン 4 m 以下の 梁 桁												
スパン 4 m 以上の 梁 桁												
間柱												
筋かい												
根太・垂木												
野地板 ラス下 床下地												

2.2 構造材（面 材）

部 位	寸 法			材料の 種 類	樹種	強度 等級	化粧 等級	含水率	仕上	防腐・防蟻 処 理	その他特記事項 (背割り等)
	巾 (mm)	成 (mm)	長さ (m)								
耐力壁											

2.3 造作材

部 位	寸 法			材料の 種 類	樹種	化粧 等級	含水率	仕上	防腐・防蟻 処 理	その他特記事項 (背割り等)
	巾 (mm)	成 (mm)	長さ (m)							
平割										
平割										
平割										
平角材										

2.4 板 材

部 位	寸 法			材料の 種 類	樹種	化粧 等級	含水率	仕上	防腐・防蟻 処 理	そ の 他 特記事項
	巾 (mm)	成 (mm)	長さ (m)							
本実										
相決り										
デッキ										

2.5 接合金物

部 位	接合金物	材質または認定規格	その他 特記事項
耐力壁に接する柱の 柱頭、柱脚			
筋かい端部			
土台－基礎			
ホールダウン金物－基礎			
梁端部仕口の引張補強			
小屋梁隅角部の火打梁			
垂木－軒桁			
トラス上弦材－斜材の 傾ぎ大入れ仕口の補強			

2.6 接合具

部 位	種 類	記号・品名	材質・規格	その他 特記事項
構造用合板張り耐力壁				
垂木－横架材				
柱－梁(引きボルト)				
見えがかりの柱頭柱脚				

2.7 接着剤

工事箇所	接着剤名	建材名	建材寸法	接着面名	特記事項 (接着剤種類・JIS品番・☆表示、等)
フローリング張り					
壁羽目板張り					
造作工事					
ネダレス床合板設置					

3. 部位別の工事仕様

3.1 構造材の加工

部位・構造	工 法	継手・仕口の種類		金物・栓類	使用箇所
土 台					
柱・通し柱・小屋束					
横架材(梁・桁等)					
トラス斜めー上弦材					

3.2 造作材の加工

【 線 材 】

工 種	意 匠	適用範囲	工 法
額縁(サッシ)			
枠材(出入り口)			
和室造作			

【 面 材 】

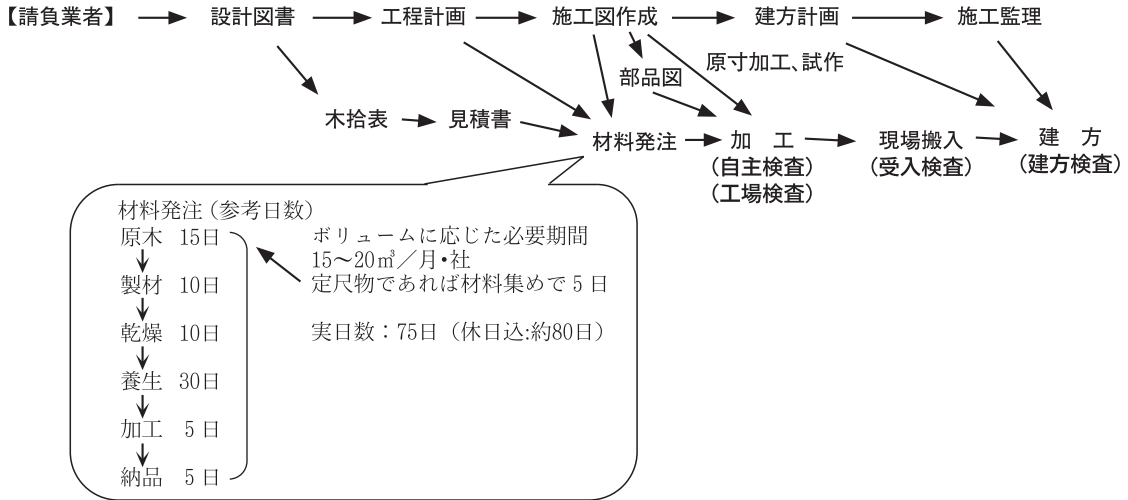
材 種	形 状	使用箇所	寸 法	工 法	特記事項(共通)

3.3 防腐・防蟻工事

部 位	薬 剤	特 記 事 項
土 壤		
木部(立上 1 m)		

4. 工程管理と検査方法

【木構造建方までのフロー図】



各種検査記録の提出 : 各工程の検査結果を監督職員に提出する。

4.1 木材製品の受入検査方法

	印字・ラベルにより 確認	出荷証明書等 の提出	製造者の自主検査 記録表の提出	受入時の抜取検査 (荷口毎に1本)	受入時の目視検査	その他 検査方法の特記
寸法検査						製材工場での抜取 検査 (%)
樹 種						
産地証明						伐採現場と製材工 場の現地確認
強度等級						製材工場での抜取 検査 (%)
化粧等級						製材工場での抜取 検査 (%)
含 水 率						製材工場での抜取 検査 (%)
防腐・防蟻処理						

4.2 建方検査（アンカーボルトは、建て方前日以前に行う。）

部 位	建方精度	接合に関する特記事項	養生その他特記事項
アンカーボルト 及び土台据付面高さ			
柱			
横架材(床用)			
トラス・組立梁	—		
筋かい	—		
根太、母屋、垂木	—		
面材張り耐力壁	—		
面材張り水平構面	—		

4.3 建方後の点検

項 目	屋根葺完了時	竣 工 時	1 年点検時	備 考
横架材のたわみ				
床の横架材のたわみ				
小屋の横架材のたわみ				
軒桁のハラミ				
ボルトの締め直し				

※ 使用上支障のある変形が生じた場合は、至急対策をとること。